

臨床研究

「胸腔鏡手術における狭帯域光所見と病理所見の解析」 についての説明

私たちは患者さんに最新の医学知識に基づく最良の治療を提供することを常に心がけるとともに、治療効果の改善を目指し努力しています。そのためには患者さんや家族の方の理解と協力が必要になります。この文書は、この医学研究へ協力頂くため、研究の内容を説明したものです。

・研究の目的

近年、内視鏡手術が進歩し、当院でも肺癌・胸膜中皮腫等の疾患の診断及び治療に導入し、より低侵襲で、痛みの少ない手術が可能になり、入院期間の短縮・早期の社会復帰に貢献しています。また、通常光での観察に加え、狭帯域光等の特殊光観察が可能になり、肉眼及び通常光では判りづらい病変の所見が観察できるようになりました。

この研究は、血液中のヘモグロビンに吸収されやすい波長の狭帯域光を用いることにより、肺及び胸膜表面の微小血管を可視化し、肺癌の肺表面への浸潤・胸膜中皮腫の有無及びその範囲についての所見を検討し、より正確な病状の診断に役立てることを目的としています。

・研究の方法

胸腔鏡手術における狭帯域光観察は、胸腔鏡手術時に数分間かけて行っています。肺表面の微小血管の所見と顕微鏡検査の所見を比較し、病変の範囲及び浸潤における肺表面の微小血管所見を検討します。狭帯域光観察を行うことにより、腫瘍の浸潤の有無・病変の拡がりについて、通常光の観察では判別できない所見が得られ、病気の進行度をより詳細に診断できる可能性があります。2009年から記録された動画にて所見を解析し、保存されている病理検体にて微小血管を分析します。

・個人情報の保護

本研究に関して、治療を受ける患者様の個人情報は保護され、人権は擁護されます。この臨床試験に際して得られた診療上の情報や個人の情報は守られます。また、あなた個人を識別する情報をこの臨床試験の報告や発表に使用することは決してあり

ません。この研究は、筑波大学倫理審査委員会で審査され、個人情報および人権が守られることが確認された研究方法です。ご協力によって得られた結果は、個人が誰であるか分からないようにした上で、学会や学術雑誌、データベース上などで公に発表されることがあります。

本件に関するお問い合わせ先

本研究について何かお知りになりたいことや、疑問な点がありましたら、担当医師に遠慮なくおたずねください。また、本研究への参加を希望されない場合も下記へ御連絡下さい。

本試験の責任医師：佐藤 幸夫(呼吸器外科診療グループ・教授)

連絡先：筑波大学附属病院

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

電話：029-853-3097(医局、平日9:00-17:00)

029-853-3110(上記以外の時間帯)

※担当医師または呼吸器外科の医師を呼び出してください。